

学校生活についてのアンケート調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査目的

学校生活についてのアンケート調査は、各学校においては、児童生徒の実態を把握し、いじめの未然防止や早期発見・早期解決につなげることを、教育委員会においては、藤沢市全体の傾向を把握して今後の施策に反映することを目的として、全児童生徒を対象に実施しています。

(2) 実施時期 平成26年7月～10月

(3) 調査対象 全市立小・中学校児童生徒

小学生

(単位：人)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	回答率
3,811	3,739	3,667	3,847	3,922	3,794	22,780	98.8%

中学生

(単位：人)

1年	2年	3年	計	回答率
3,378	3,433	3,348	10,159	96.7%

※回答率は平成26年9月1日現在の児童生徒在籍数に対する回答数の割合です。

※欠席者等がいるため、回答率は100%になっていません。

(4) 調査内容 「学校生活についてのアンケート」

設問1～設問4 「学校生活の中で嫌な思いをしている児童生徒の把握」

設問5 「自己の行動の見直し」

設問6～設問8 「周囲の児童生徒の意識」

2 調査結果の分析の観点

(1) 過去3年分での推移がつかめるよう、3年分の数値を並べてグラフ化

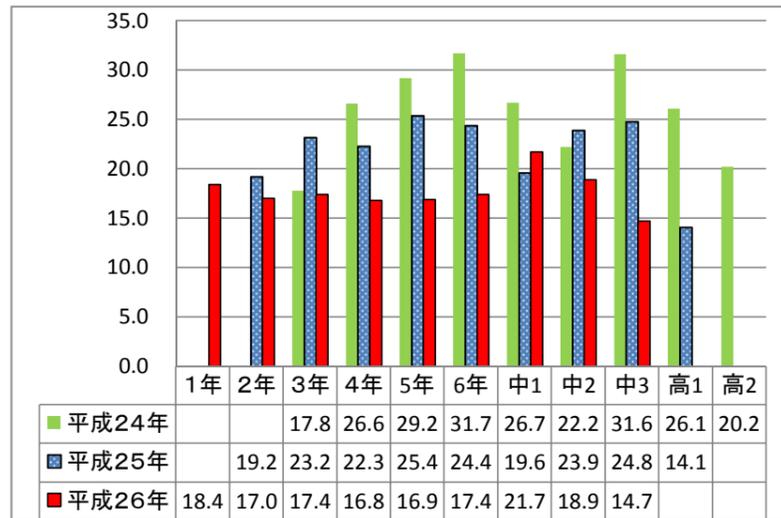
(2) 近年問題視される、パソコン、携帯電話・スマートフォン等に関わる割合の変化

(3) 嫌な思いをしている児童生徒と嫌な思いをさせた児童生徒、嫌な思いをしている児童生徒を見たり聞いたりした児童生徒の割合の比較

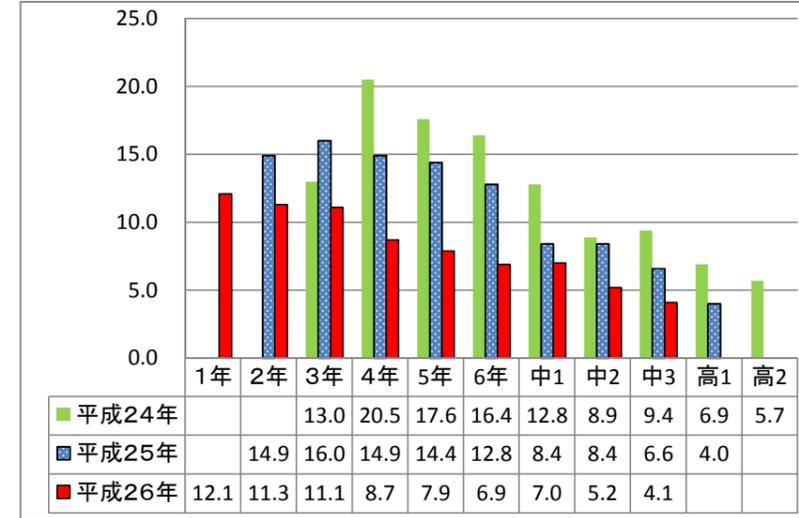
3 調査結果の分析と考察 (単位は全て%)

設問1 あなたは今年の4月から今までの間に、くり返し次のようなことをされたことがありますか。(学校生活の中で嫌な思いをしている児童生徒)

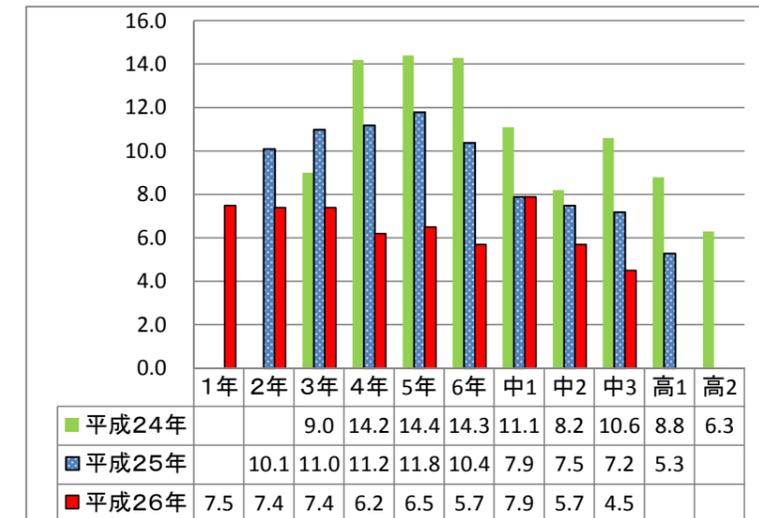
(1) ひやかされたり、からかわれたり、嫌がることを言われた



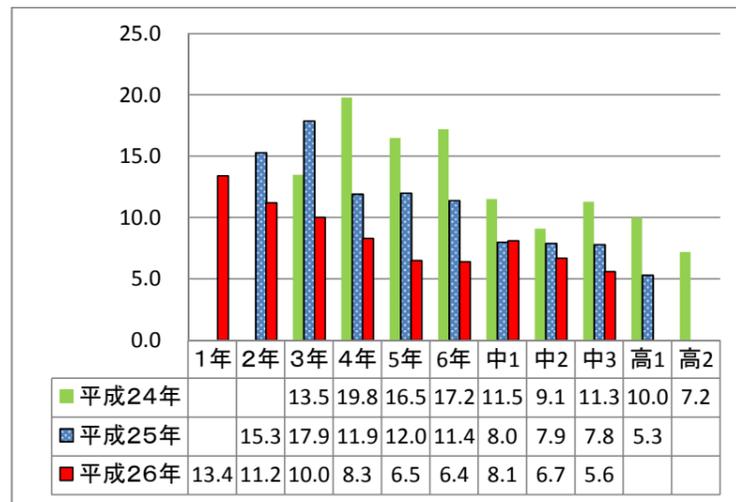
(2) 仲間はずれにされたり、無視されたりした



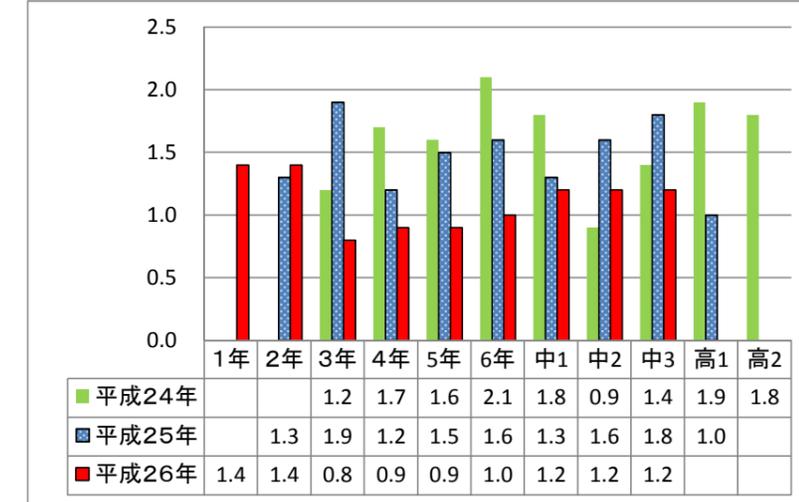
(3) 持ち物を取られたりかくされたりした



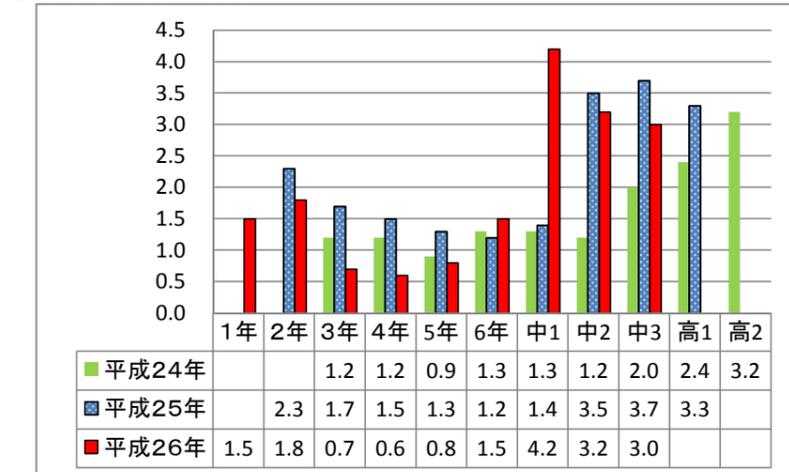
(4) なぐられたり、けられたりした



(5) お金を出させられたり、おごらせられたりした



(6) 悪口の書いてある手紙を教室で回された(小学校低学年) パソコンや携帯電話・スマートフォンで悪口を言われたり、書き込まれたりした



(7) その他

(主なもの:平成26年度)

【小学校】

・悪口を言われた・噂を流された・叩かれた・無視された・仲間はずれにされた・「菌」扱いされた・交換ノートに悪口を書かれた・持ち物を隠された

【中学校】

・悪口を言われた・噂を流された・変なあだ名で呼ばれる・仲間はずれにされる・SNS上に勝手に写真を載せられたり悪口を書かれたりした

(主なもの:平成25年度)

【小学校】

・冷やかされた・無視される・陰口を言われる・嘘をつかれる・好きな人の名を広められた・嫌なあだ名をつけられた

【中学校】

・噂を流された・陰口・あだ名をつけられた・嫌がらせのメール・冷やかし・ばい菌あつかい・脅される・自分のせいにされる

(考察)

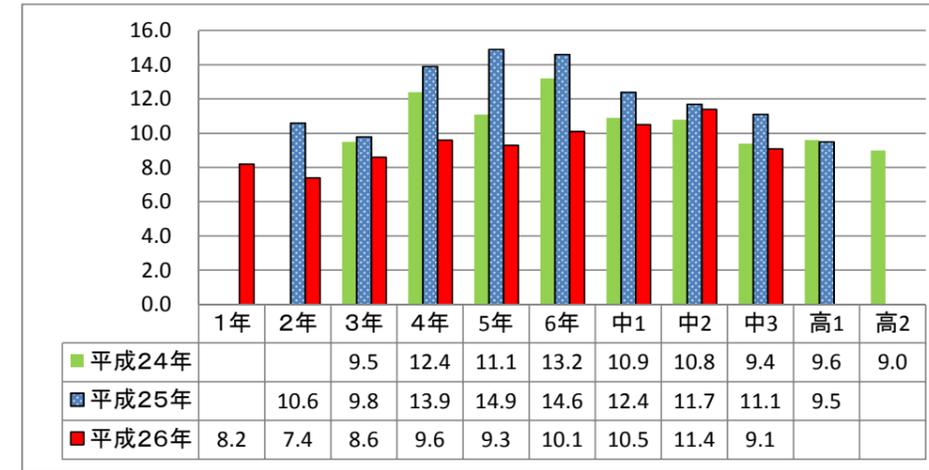
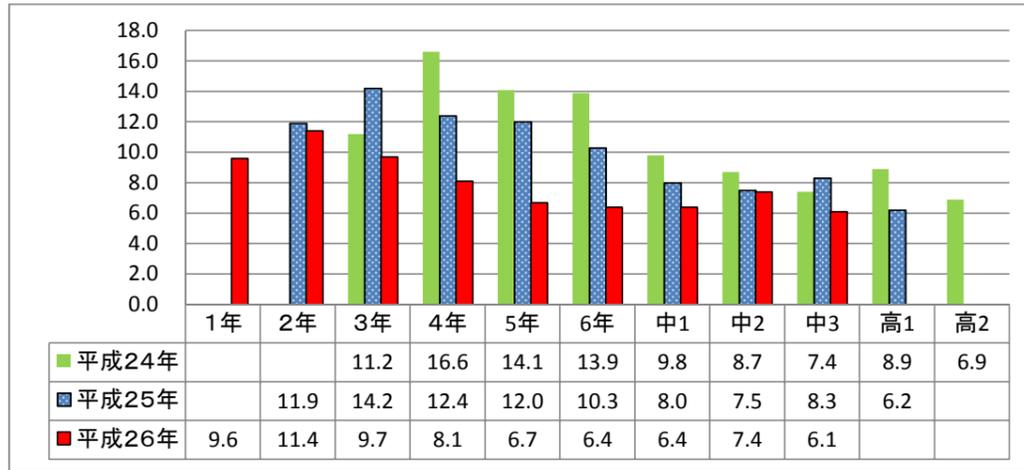
学校生活アンケートの結果について、平成24年度より平成26年度の3年間の変容を並べて比較できるようにグラフ化しました。全体的な傾向として、多くの設問、多くの学年でいじめに対する数値が減少傾向となっています。

その理由としては、日頃よりきめ細やかな対応で児童生徒に寄り添い、真摯に向き合っている教職員の取り組みをはじめ、学校がこれまでに取り組んだ、学校生活アンケートによる児童生徒の実態把握や、学校のいじめ防止基本方針の策定と実践、いじめ防止プログラムの実施によるスクールバディの養成などにより、教職員や児童生徒のいじめに対する意識が高まったことが考えられます。また教育委員会が推進した、「STOPいじめ！中学生の集いin藤沢」やいじめ防止講演会などの活動や、いじめ相談ホットライン、いじめ相談メールといった相談体制の充実などが考えられます。

(6)のパソコンや携帯電話・スマートフォンについての回答結果は、小学校高学年から、中学生にかけて増加傾向にあり課題がみられます。特に中学1年生での数値が高く、中学校入学を機に、携帯電話等を所持率が急に増加することに関連しています。携帯電話等を持ち始める前の段階で、小学校高学年の保護者を対象に入れた情報モラル教育の推進などの対策が必要です。

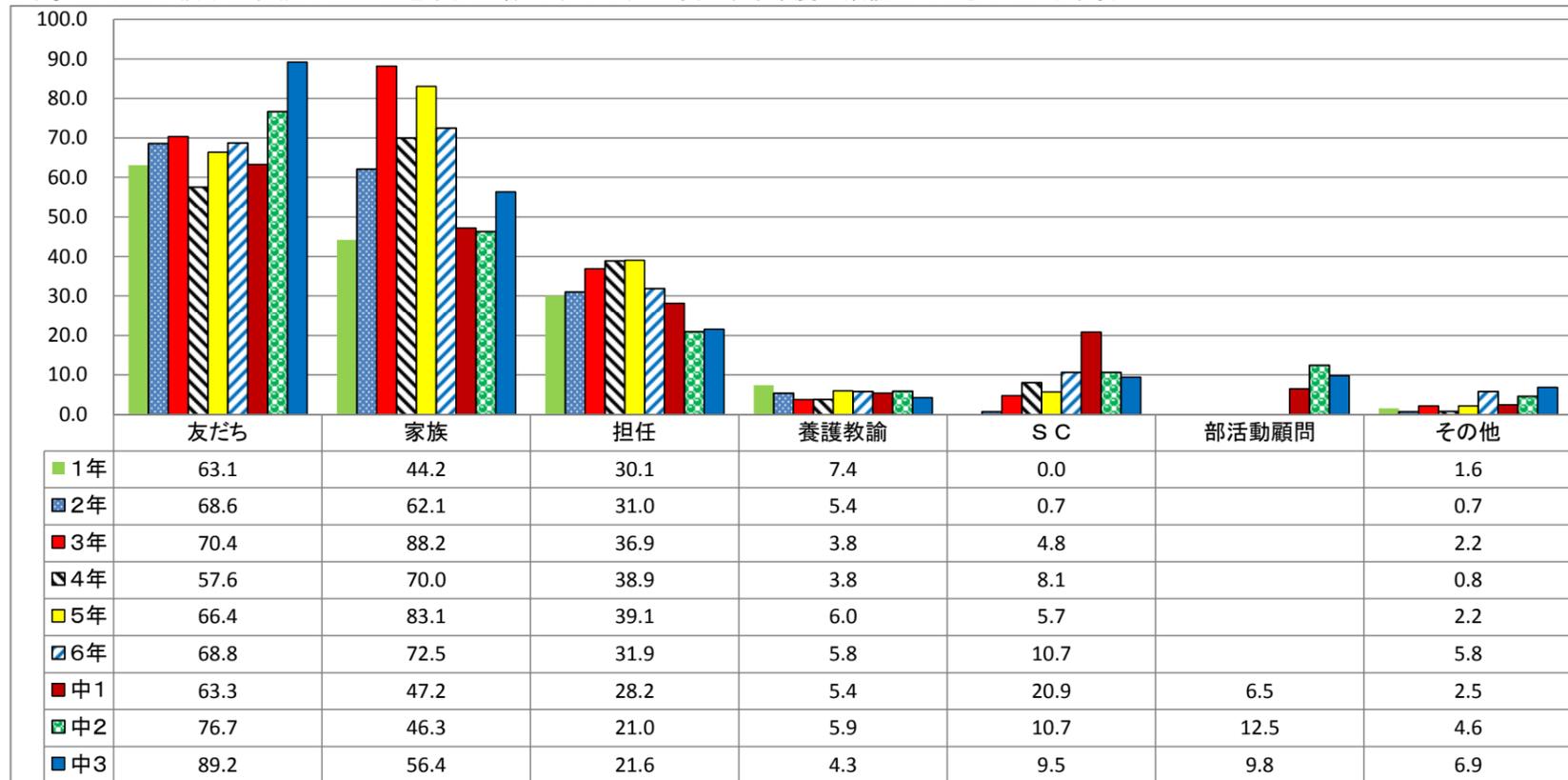
設問2 あなたは、1の(1)～(7)のようなことから、学校に来るのがつらくなることがありますか？

設問3 あなたは、友達のことや、心配なこと、相談したいことがありますか？



設問4 3の質問で「はい」と答えた人への質問です。あなたが悩みを相談したいと思う人は誰ですか？いくつかでも○をつけてください。

3で「はい」と答えた人への質問です。あなたが悩みを相談したいと思う人は誰ですか？(この表は、今年度の数値のみとなっています。)



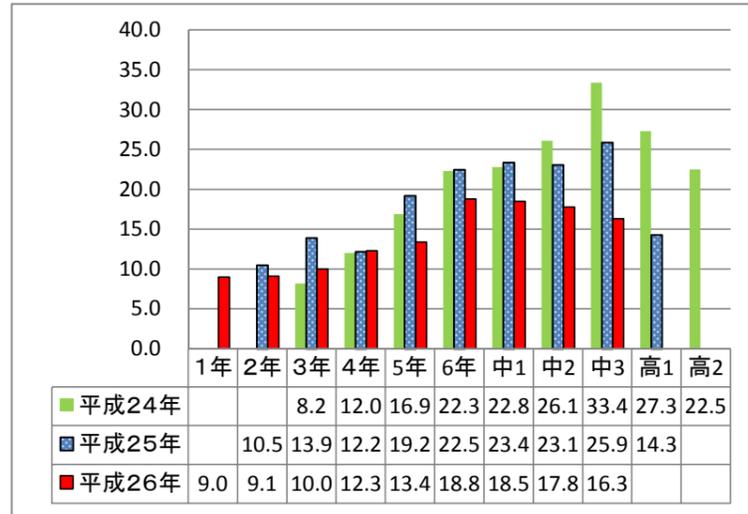
その他

(主な意見)
【小学校】
 ・祖父母・兄妹・いとこ・親戚・友だちのお母さん・担任以外の先生・教育委員会・スポーツクラブのコーチ・自分で考える
【中学校】
 ・先輩・祖父母・担任や部活の顧問以外の先生・習い事の先生・自分の心・相談したくない・警察・ネット上の友だち

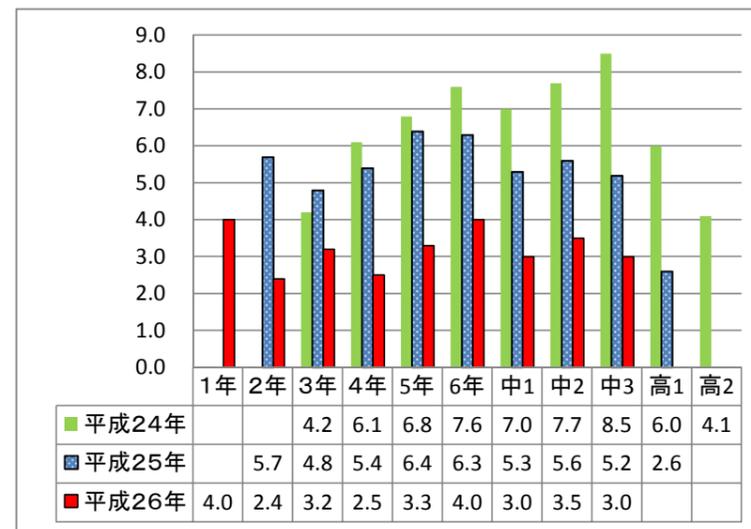
(考察)
 設問4より、児童生徒が悩み事をおかしたときに相談したい相手の傾向がみえました。1番に友達、次に家族、そして学級担任という順になっております。中学校では、スクールカウンセラーという選択も増加している傾向が見られます。
 その他の意見では、小学校では、家族や親戚などの身近な人に相談したい傾向が見られ、中学校になると担任や顧問以外の利害関係の薄い相手に相談をしたい傾向が見られます。また、ネット上の友だちという回答も見られ、見ず知らずの相手に相談するという危うさも見られます。

設問5 あなたは今年の4月から今までの間に、周りの人に次のようなことをしたことがありますか。(学校生活の中で周りの人に嫌な行為をしたことがある児童生徒)

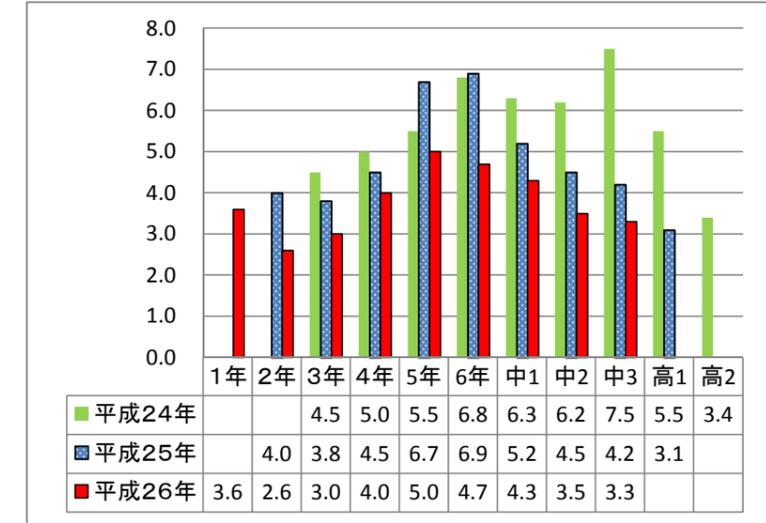
(1) ひやかしたり、からかったり、嫌がることを言った



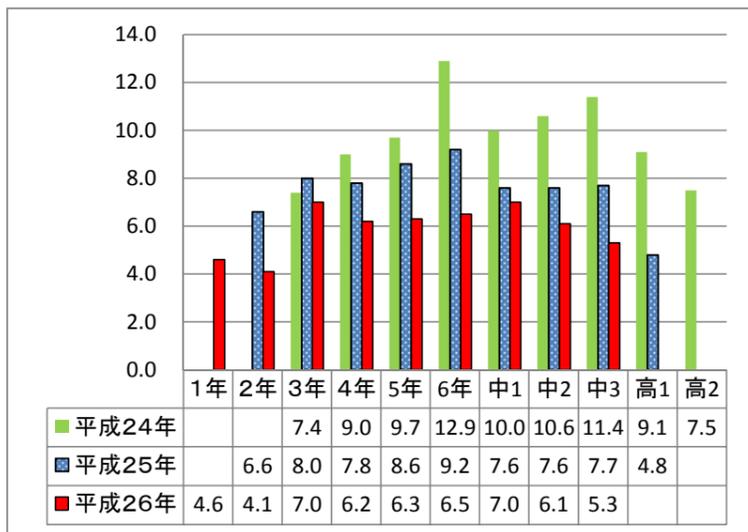
(2) 仲間はずれにしたり、無視したりした



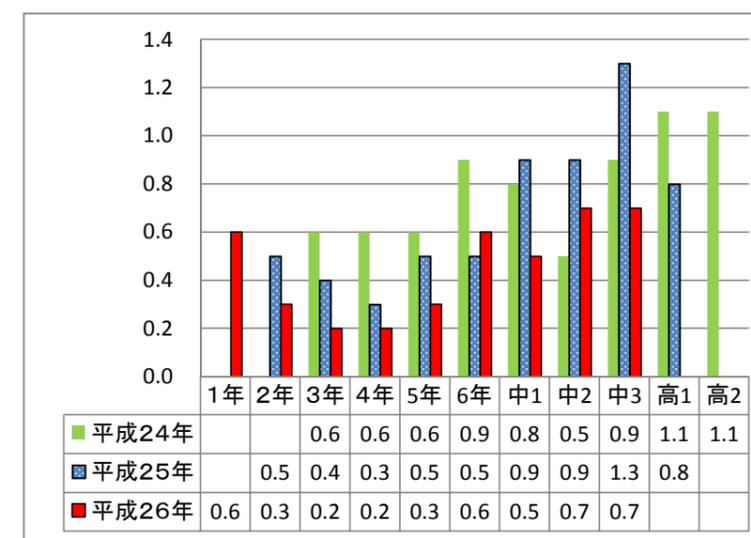
(3) 持ち物を取ったり、かくしたりした



(4) なぐったり、けったりした

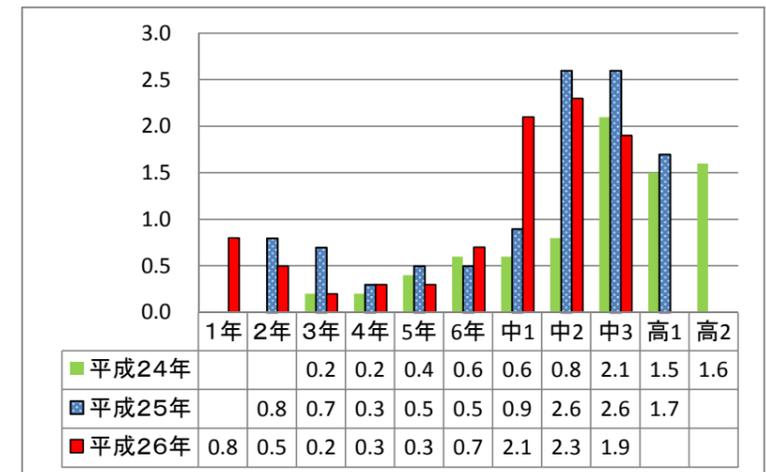


(5) お金を出させたり、おごらせたりした



(6) 人の悪口を書いた手紙を教室で回した(小学校低学年)

パソコンや携帯電話・スマートフォンで悪口を言ったり、書き込んだりした



(7) その他

(主な意見:平成26年度)

【小学校】

・悪口を言った・暴力を振るった・無視をした・仲間はずれにした・にらんだ・こそこそ話をした

【中学校】

・陰口を言ってしまった・無視をした・プロレス技をかけた

(主な意見:平成25年度)

【小学校】

・嘘をついた・友達を変な名前と呼ぶ・ちょっかいを出した・けんか・落書き・おどかした

【中学校】

・悪口を書き込んだ・陰口・避ける・くすぐる

(考察)

設問5では、自分がしたことを調査しています。

多くの設問で、3年間で減少している傾向が見られます。

パソコンや携帯電話・スマートフォンについての質問は、設問1と同じく小学校高学年から中学校にかけて増加している傾向が見られます。

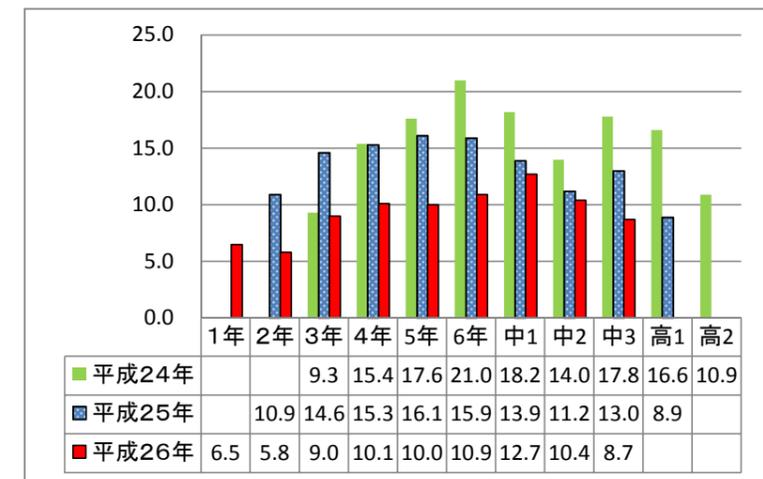
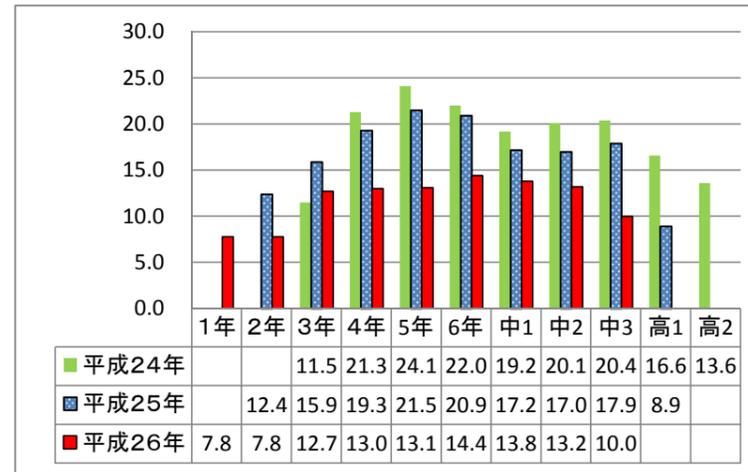
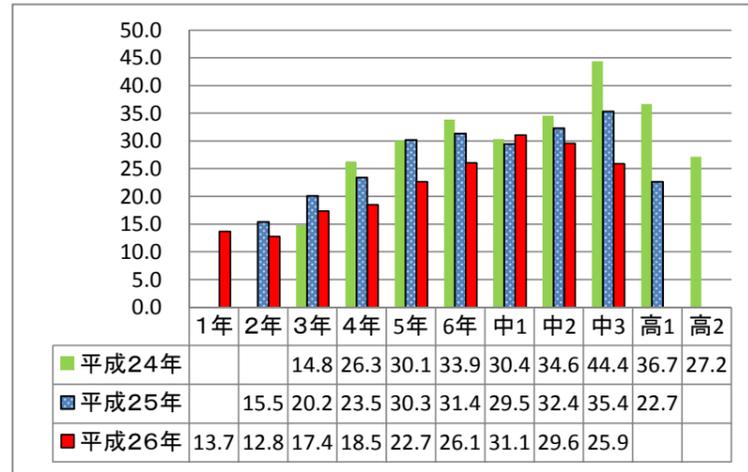
全体的な傾向として、自分がされたことを質問している設問1に比べ、数値が低くなっています。自分はいじめているつもりはなくても、相手にとっては嫌だと感じる場合があり、感じ方がそれぞれ違うことを認識させる必要があります。日頃から相手の気持ちを考えて、お互いに尊重しあって生活していくことを指導していくことが大切です。

設問6 あなたは今年の4月から今までの間に、同じ人がくり返し、次のようなことをされている場面を見たり、聞いたりしたことがありますか。(周囲の児童生徒が嫌がらせ行為を行っている場面を見たり聞いたりしている児童生徒)

(1) ひやかされたり、からかわれたり、嫌がることを言われていた

(2) 仲間はずれにされたり、無視されたりしていた

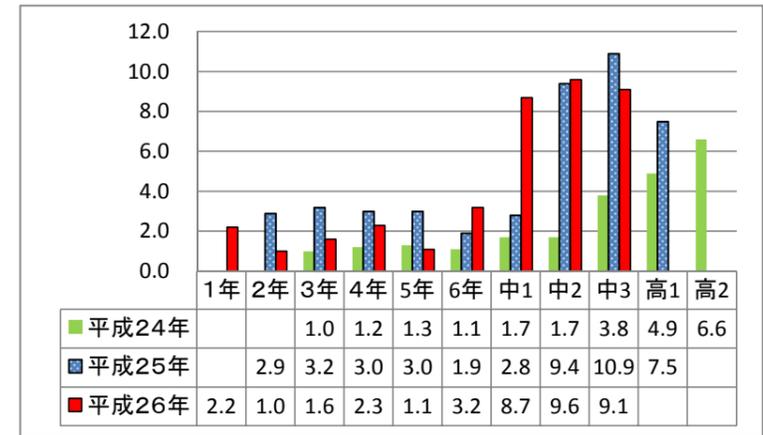
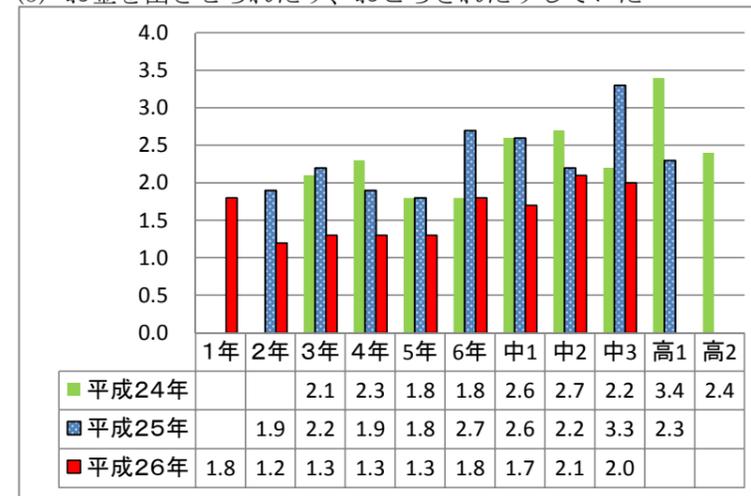
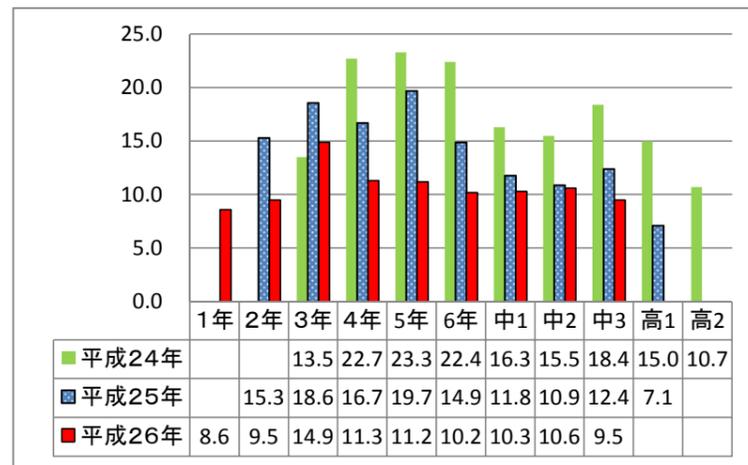
(3) 持ち物を取られたり、かくされたりしていた



(4) なぐられたり、けられたりしていた

(5) お金を出させられたり、おごらされたりしていた

(6) 人の悪口を書いた手紙を教室で回した(小学校低学年) パソコンや携帯電話・スマートフォンで悪口を書き込まれていた

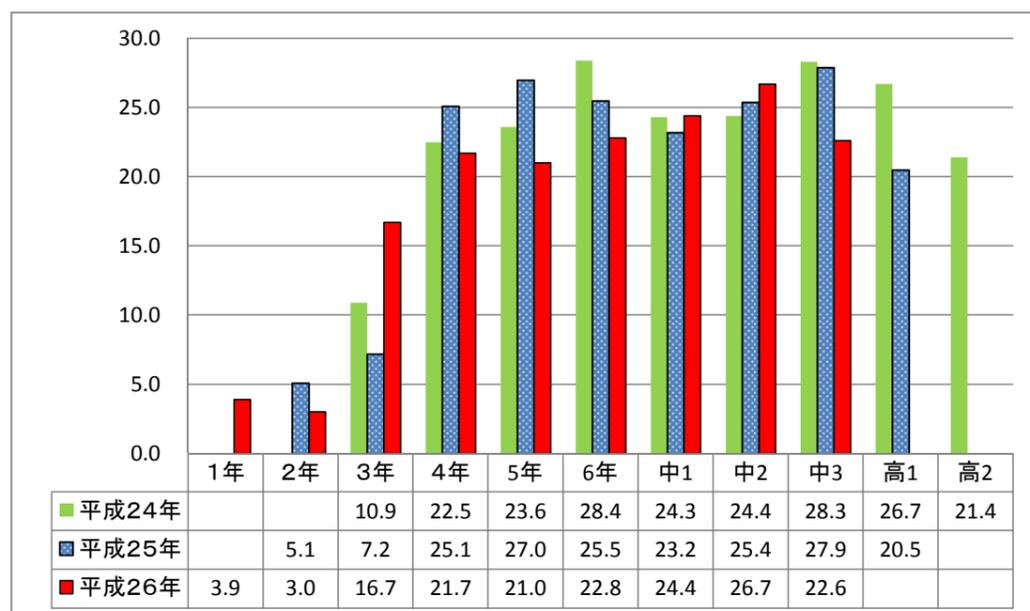


(7) その他

(主な意見:平成26年度)
【小学校】
 ・陰口を言われていた・「菌」扱いされていた・暴力を振るわれていた・変なあだ名をつけられていた・SNS上に悪口を書かれていた・上履きを隠されていた
【中学校】
 ・変なあだ名をつけられていた・持ち物を壊されていた・SNS上に悪口を書かれていた
 (主な意見:平成25年度)
【小学校】
 ・物を隠されていた・見てみぬフリをした・変な名前と呼ばれていた・投石・死ねと書かれていた・悪口を言っていた・体型、体臭のことをいう
【中学校】
 ・机を離される・嫌なあだ名・目の前でドアを閉められる・避けられた・好きな人の話を無理やりさせている

(考察)
 全体的な傾向としては、これまでの設問と同じく、3年間での減少傾向が見られます。設問1のパソコンや、携帯電話・スマートフォンについての回答で、やはり中学生の数値が大きくなっています。設問1の「自分がされたこと」設問5の「自分がしたこと」に比べ、「されているのを見たり聞いたりしたこと」という設問のため、数値が大きくなっています。各学校の取り組みなどにより、いじめについての児童生徒の感度が上がったこと、一つの事案に対して、複数の児童生徒からの回答があったことなどから、このような結果になったと考えられます。
 中学生の携帯電話等の質問では、10%に近い数値になっており、情報モラル教育を推進する必要があると感じられます。ネット上の閉ざされた世界での出来事は、学校や保護者が感知しづらいため、こういった情報を見たり聞いたりした児童生徒からの訴えに頼るしか発見の手立てが無いのが現状です。児童生徒への、心の教育が大切です。

設問7 あなたのまわりには、6の(1)~(7)のようなことから、学校に来るのがつらくなっている人がいると思いますか？



設問8 6の(1)~(7)のような場面を見たり、聞いたりしたら、どうしますか？

(主な意見:平成26年度)

【小学校】

- ・すぐ先生に言う・助ける・注意する・家の人に言う・関わらない
- ・先生やSCに相談する・みんなと一緒に止める
- ・自分がいじめられたら嫌だから関わらない・自分たちで解決できることは解決する

【中学校】

- ・先生に言う・いじめる側に付かない・助ける努力をする・家族に相談する・アンケートに書く
- ・先生やSCに相談する・いじめかじゃれあいかわからない・いじめる側につかない・関わらない
- ・見てみぬフリをする・どうにかしたいが自分がターゲットになるのが怖い・助ける勇気が出ない
- ・見てみぬフリはしない・スクールバディに相談する

(主な意見:平成25年度)

【小学校】

- ・大人や先生、家の人に言う・相談する・注意する・保健室に連れて行く・裏で仲良くする・黙って見ている
- ・自分がやられたら嫌なので、何も言えない・見てみぬフリをする・注意しようと思うが勇気が出ない

【中学校】

- ・先生に言う・助ける・止める・相談にのる・話しかけてあげる・何か対策はないか考える
- ・家族や親に相談する・止めたいが勇気がない・放っておく・何もできない

4 今後に向けて

(1) 教育委員会の取り組み

- ア 現在市長部局において制定にむけた検討をしている（仮称）「藤沢市子どものいじめ防止条例」をもとに、児童生徒が理解しやすい表現に直したリーフレットを作成し周知するとともに、いじめの問題に対して全ての児童生徒が向きあえるよう、意識啓発を行います。
- イ 携帯型ゲーム機等を介して起こるいじめなど、新たなインターネットトラブル等に対応するために、教職員向け研修会を行います。子どもたちを取り巻く情報環境は、日々進化していることから、研修会の内容や講師の手配等について学校に情報提供していきます。
- ウ いじめ相談ホットラインや、いじめ相談メールについての周知をさらに行い、困っている児童生徒や保護者が気軽に相談できる体制の充実に努めます。
- エ 学校生活アンケートについては、児童生徒の実態を把握するため、教育委員会からは年2回学校に依頼して実施するとともに、学校独自の調査を年1回以上行うことを継続していきます。また、児童生徒が正直に素直な気持ちを記入しやすいよう、アンケートを家庭に持ち帰り実施することについては、回収率に課題が見られたため、回答の方法と回収率をあげる方法については、引き続き検討していきます。
- オ 学校生活アンケート調査の分析結果については、校長会や教頭会、担当者会等を通して学校に情報を発信し、児童生徒指導に役立てていきます。
- カ いじめ防止対策担当スクールカウンセラーによる研修会について、内容を吟味して各学校に紹介し、教職員向け研修会の充実に努めます。また、今年度全校に対して実施した学校訪問から見えてきた課題や問題点を精査し、今後の体制作りに役立てていきます。
- キ 学校の実態に合わせたいじめ防止の取り組みが実施できるよう、時間短縮版の「いじめ防止教室」、「いじめ防止プログラム」を今後も学校に提供していきます。

(2) 各学校での取り組み

- ア 各学校で定めた「学校いじめ防止対策基本方針」に則り、いじめのない学校を目指します。
- イ 各学校で道徳教育を行う際に、常に相手の立場に立って考え、互いに尊重し合える関係作りを意識した実践を取り入れます。
- ウ 各学校は「いじめ防止プログラム」や児童会・生徒会での取り組みを推進し、児童生徒が自らいじめの未然防止に取り組めるようにしていきます。
- エ 携帯型ゲーム機や音楽再生プレイヤーなどについても、インターネットに繋げる環境にあるため、携帯電話やスマートフォン同様、児童生徒がネットトラブルの加害者や被害者になる可能性があることから、保護者を対象とした情報モラル教育を実施するなど、児童生徒・保護者に対し積極的に情報を提供し啓発活動に努めます。